

提供資料の管理情報

提供日 2026.11.26

抄録・参照版作成日 2026.11.26

原資料の作成目的

差異照会への判断と、公表に使用する集計条件を回答する。

保存経路・提供範囲

UCRの回答原本と篠原への発信控え。移行審査事前確認の保全資料から提供。

都市継続研究機構

提供資料

UCR-R-17-0621-02

採否条件差異照会への回答・成果提示方針

事前基準との相違を受け取った後も、変更後の分母と成果提示を維持した回答です。

原資料作成日

2017.06.21

原資料作成者

都市継続研究機構 研究統括 織原 宗一／通知:事業統括 長谷部 玲奈

文書番号

UCR-R-17-0621-02

SH-Q-17-0619-01の指摘と、UCR-A-17-0619-03の回付資料を確認した。32試行が版1.0では適格であったこと、結果を判定できる未達であったこと、変更区分が結果受領後に追加されたことを認める。

成果取りまとめはUCR-C-17-0616-01による採用148試行、目標達成142試行を維持する。共同事業の継続に向け、資金に関する説明や参加企業・導入先への説明で成果を示すため、原集計142/180を公表値へ併記する案は採らない。原入力と差異照会は管理資料として保持する。

研究統括はサービス継続の実装が必要であると判断している。事業統括部は、運用条件外という整理と、施設閉鎖・交通変動時への共通適用を説明資料に反映する。採否の差異が解消したとの回答ではなく、指摘を把握した上で現方針を維持する判断として記録する。

現在の参照情報

原資料本文とは別に付した参照先です。参照情報更新日:2026.12.14

差異照会の受領記録	↑
篠原の差異照会	↑
当時の公表成果報告	↑

本資料はフィクション作品の一部です。作品案内:<https://ucr.piveh.com/about-this-site/>